



保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

学部での学びをさらに発展させます

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	<p>広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。</p> <p>また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対処することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。</p>		<p>広い視野と高邁な倫理観に立って、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。</p>
アドミッションポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人 		<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	<input type="checkbox"/> 健康科学領域 <input type="checkbox"/> 基盤看護学領域 <input type="checkbox"/> 生活・地域保健学領域	<input type="checkbox"/> 基盤看護学領域がん看護学	<input type="checkbox"/> 生涯保健看護学領域 <input type="checkbox"/> 地域保健看護学領域
選抜方法	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12名		3名
修業年限 ^(*)	2年	3年 (長期履修制度利用)	3年
取得できる学位・資格	修士 (保健看護学)	修士 (保健看護学) がん看護専門看護師 認定審査受験資格	博士 (保健看護学)
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度 (社会人は申請することができません。)		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程（修士課程）

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- メンタルヘルス学
- 社会予防疫学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域専攻分野

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■ 共通科目（必修）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース（必修）

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■ 共通科目（選択）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■ 健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防疫学特論
- ・社会予防疫学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■ 基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論 I・II・III *
- ・がん看護学実習 *
- ・がんリハビリテーション看護 A・B *
- ・緩和ケア A・B *

*がん看護専門看護師コース必修

■ 生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

博士後期課程（修士課程）

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■ 共通科目（必修）

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■ 共通科目（選択）

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■ 生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■ 地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論

大学院生メッセージ



陳 永輝さん（博士前期課程2年生）

「学ぶことによって、自分を磨きながら、生活を楽しくいきましょう」

私は、5年の看護臨床経験を経た後、大学院へ進学しました。きっかけとしては、勤務していた病棟において、多くの患者は認知症に罹っている高齢者であり、日常に同じことを言い繰り返し、暴言・暴力、昼夜逆転などの症状を表し、看護や治療などを拒否し、私たちの仕事がとても大変であることを深く感じました。また、「なぜこういう症状があるのか」、「どのように対応するのか」という疑問があり、継続的な勉強、研究の必要性をとて感じました。今、先生の指導下、幅広い視点で看護を見直し、高齢者のより高い生活の質を維持または改善する課題を研究しながら、院生の生活を楽しくしています。今後、大学院の学習により、教育能力と研究能力を身につけた私は、看護教員として学生や後進者に正しく教えながら、自分の研究で、社会に貢献したいと考えています。

松岡 晃子さん（博士前期課程2年生）

「仲間とのディスカッションで楽しく学びを深めていきましょう!」

私は様々な診療科の臨床経験を経て、がん看護専門看護師コースに進学しました。がん患者さんが抱える悩みは年々多様化、複雑化してきているので、これまでの経験だけでは解決できないことも多く、その悩みに少しでも答えられるようになりたいと思い進学を決意しました。

仕事しながらの通学は大変ですが、同じ志を持った仲間とのディスカッションは本当に楽しく、学びを深めることができています。また、大学院で学んだことをすぐに実践に繋がることができるので、この大学を選んで良かったと思っています。



堀内 美佐さん（博士前期課程2年生）

「仕事との両立も可能です!学ぶことを楽しみましょう!」

私は保健師として長年行政機関で勤務し、保健医療福祉の各分野の業務を経験する中で、現場の課題と向き合うために学びの必要性を感じて進学しました。仕事を続けながらの学生生活は多忙ですが、日頃接点のない年代の方や医療現場の方と一緒に学び、異なる視点に触れることは、よい刺激となり活力をいただいています。今後の保健医療行政や地域保健活動の実践に貢献することを目指して、仲間とともに頑張りたいと思います。

特別研究修士論文発表会





入学金等（令和3年度）

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

*希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

*本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

表彰制度

他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。

- 知事賞／成績優秀者を表彰
- 学長賞／成績優良で他の模範となる学生を表彰

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があり、学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約64,000冊の図書やCD・DVDなどの視聴覚資料、約1,000種類の学術雑誌を所蔵しているほか、学習や研究に必要な文献などを探すためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るための環境が整っています。

図書館三葛館ウェブサイト：

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

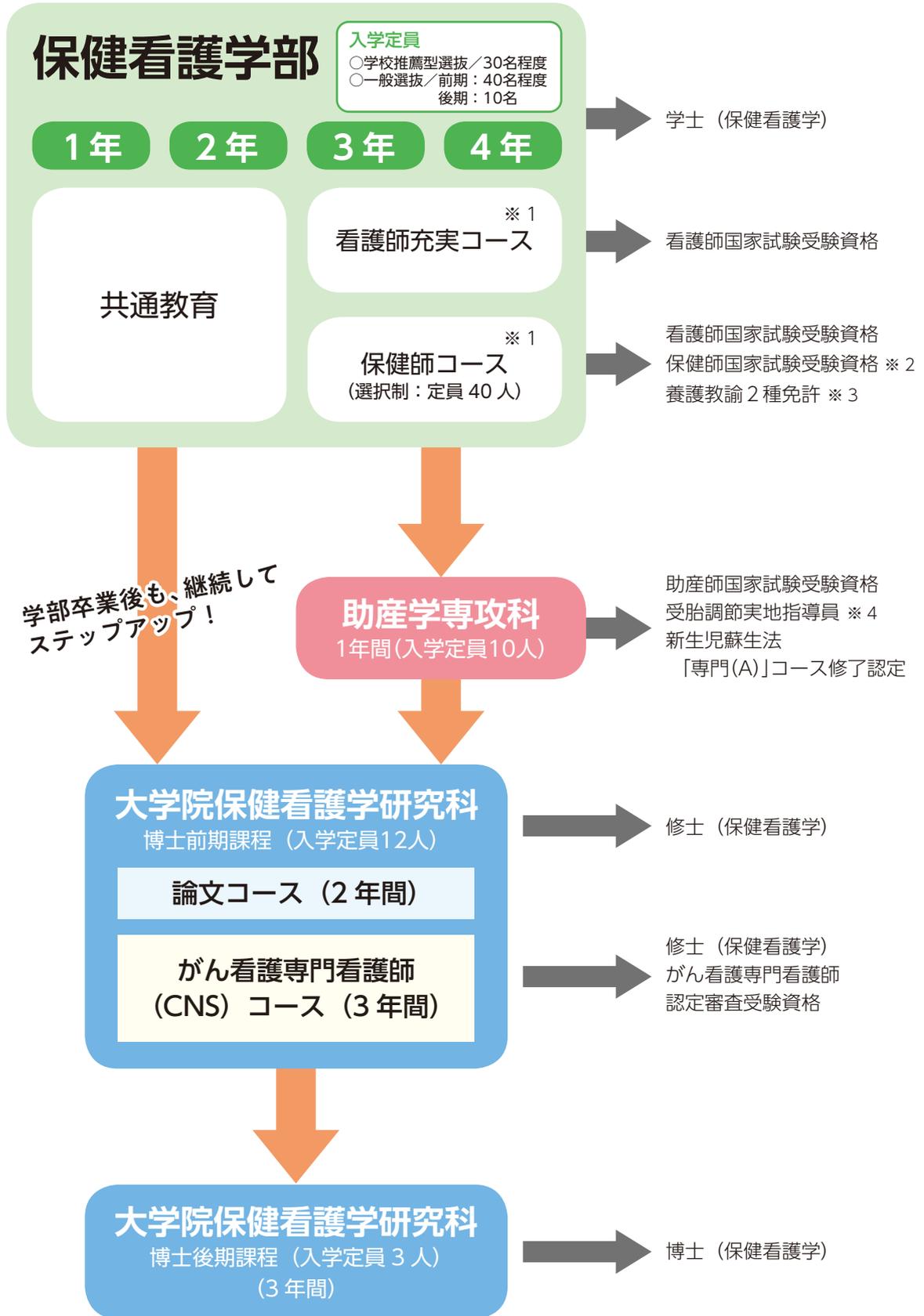
担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。





学位・資格取得によるキャリアアップを支援します



- ※1 看護師充実コースと保健師コースは一部履修科目が異なります。
- ※2 保健師コース修了者のみ受験資格があります。また、保健師免許は看護師免許がないと取得できません。
- ※3 保健師免許を取得後、都道府県教育委員会への申請を要します。
- ※4 都道府県知事への申請を要します。